

# えべつ 市議会だより

平成16年11月1日発行

## No.79

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会

印刷 株式会社須田製版



消防車ってすごいや！ ~消防訓練~

上下水道・病院事業会計決算を認定

## 主な内容

第3回定例会の概要.....	2~3
一般質問.....	4~6
決算特別委員会.....	7
意見書等.....	8

第3回定例会は9月8日から28日まで21日間の会期で開かれました。一般会計補正予算などの議案6件、水道・下水道・病院の各事業会計決算の認定3件、意見書案5件、報告1件を議了し、一般会計・各特別会計の決算の認定5件と陳情1件は閉会中の継続審査となっています。

一般質問は15日と16日の2日間行われ、6名の議員が市政全般にわたって見解をただしました。

議案等の主な内容と決算特別委員会における審議の内容をお知らせします。

一般会計補正予算（第2号）の概要

事業内容	補正額（千円）
本庁舎階段手すり・教育庁舎屋上防水の改修費	4,600
市が商工会議所に貸している経済センターの外壁塗装・窓のアルミサッシ化などの改修費	23,000
公共街路灯15か所の更新経費	2,200
いきいきセンターわかくさの暖房用ボイラー更新経費	6,000
身体障がい者日常生活用具給付費の追加	1,218
身体障がい者更生医療給付費の追加	8,035
給付対象者の増加による児童扶養手当の追加	25,429
保育園（4か所）の屋根・外壁塗装などの補修費	9,710
東光児童センターの外壁改修費	310
保健センターの窓のかぎ改修費	1,230
環境事務所の汚水圧送ポンプ配電盤等の改修費	1,000
勤労者研修センターの外壁塗装などの補修費	4,000
緊急地域雇用創出特別対策推進事業（追加配分枠）	
・地域求人情報提供システム構築事業	5,862
・企業情報・求人情報データベース構築事業	5,822
・農業施設台帳・データ整備事業	2,501
若年層雇用対策事業（進路指導資料の作成ほか）	4,000
農村環境改善センター施設改修事業（野幌：屋根、外壁の塗装・美原：合併処理浄化槽ポンプの更新）	2,830
国営かん排江別南地区調査計画事業（調査項目追加）	605
食料・環境基盤緊急確立対策事業（用水路施設改修等）	3,200
江別駅周辺地区活性化推進事業（旧岡田倉庫の改修）	9,549
セラミックアートセンター施設改修事業（温水等循環ポンプ更新）	2,200
公園管理事業（上江別南町公園トイレの照明の改修）	2,100
市営住宅環境改善整備事業（弥生団地：屋上防水・野幌団地：ベランダ、配電盤の改修）	40,000
小学校施設整備（いずみ野小屋体の屋上防水改修等）	11,300
中学校施設整備（第三中の照明器具の増設・配置替等）	8,600
埋蔵文化財発掘調査事業（下水道工事に伴う調査）	2,533
北海道林木育種場旧庁舎改修事業（外壁等の改修）	2,900
公民館施設補修整備費（中央公民館：屋上防水改修・野幌公民館：暖房、給湯用ボイラーの更新）	14,600
市民体育館の備品購入・トレーニング室給排気の改修等	7,980
飛鳥山公園野球場改修整備事業（グラウンド暗きよの改修）	6,100
対雁調理場施設・設備整備事業（ボイラー設備の更新等）	2,000
国・道補助負担金の確定に伴う精算償還金	3,411
補正総額	224,825

# 平成16年 第3回 定例会

一般会計補正予算  
緊急を要する施設維持補修  
関係経費などや国・道の補助  
負担金の確定に伴う措置のほ  
か、当市に被害をもたらした  
台風18号に伴う災害復旧事業  
費について予算措置しました。

伴う償還金として743万7千円  
追加したほか、15年度決算に  
伴う剰余金などを積み立てる  
ため、6千416万2千円を追加  
しました。  
平成15年度水道・下水道・  
病院各事業会計の決算認定  
各事業会計決算が認定され  
ました。審査経過については  
7～8ページをご覧ください。



経済センター



旧岡田倉庫

一般会計補正予算（第3号）の概要

災害復旧事業内容	補正額（千円）
教職員住宅の物置などの取替経費	281
住区会館の倒木処理後の路面復旧・案内標識の倒壊による取替経費	188
倒壊した公共街路灯2基の取替経費	521
環境事務所敷地内のごみストックヤードの補修費	790
農業用排水路の倒木処理経費	600
元野幌兵村と美原の防風林内の倒木伐採・処分経費	6,639
旧ヒダ工場の屋根・外壁の補修費	3,600
セラミックアートセンターの屋根の補修費	1,100
公園（71か所）内の倒木処理・施設設備の補修費	27,264
傷病者の搬送中に電柱倒壊により破損した高規格救急車の修理費	4,450
教育委員会の車両（1台）の全損による代替車両購入費	1,000
各小学校の施設の補修費	1,849
第一中学校の校舎屋根等の整備改修費	69,000
各中学校の施設の補修費	949
市民体育館の倒壊車庫の取替経費・施設の補修費	940
青年センターのプール屋根の整備改修費	5,517
森林キャンプ場の倒木処理のほか屋外体育施設の補修費	1,475
補 正 総 額	126,163



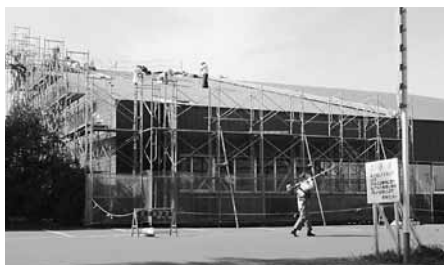
元野幌兵村防風林



旧ヒダ工場



四季のみちの倒壊フェンス



青年センターのプール屋根



泉の沼公園の倒木

一般会計は2号補正と災害復旧事業費を措置した3号補正を合わせて予算総額では408億3,384万9千円となりました。

なお、台風被害による応急措置など緊急対応が必要なものは予備費で措置しています。

人事・一般議案

固定資産評価審査委員会委員の選任  
 原 陸郎氏（野幌代々木町34番地の1）の再任に同意

財産の取得

除排雪作業の強化充実を図るため、老朽化した除雪トラックに替えてロータリ除雪車1台を2千772万円で購入するものです。

小学校の情報教育の整備充実を図るため、教育用コンピュータを児童2人に1台から1人1台に更新及び増設するもので、豊幌小ほか4校の児童用・教員用等を含めて174台を20年度までの分割払により5千982万1千744円で購入するものです。

報 告

平成15年度一般会計の継続費精算報告  
 14・15年度の2か年の継続事業であった埋立処分地施設整備事業が完了したことに伴い、精算報告を受けました。  
 総事業費は16億8千466万5

陳 情

千885円で、埋立面積が3万4千平方メートル、埋立容量は7万8千立方メートルで、処分地内の浸出水を処理する施設は鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延べ床面積は606平方メートルで、1日85トンの処理能力を有するもので、16年4月1日から稼働しています。



埋立処分地施設

継続審査となった陳情  
 精神障害者の交通費助成を  
 求めることについて  
 江別市立病院 精神障害者  
 家族会 あすか会  
 会長 加藤浪子氏

# 一般質問

9月15・16日

質問の一部を分野別に要約してお知らせいたします。

## 【質問者】

- 宮川 正子 議員  
(公明党)
- 矢澤 睦子 議員  
(民主の会)
- 清水 直幸 議員  
(自由市民政策会議)
- 山本 由美子 議員  
(明政会)
- 吉本 和子 議員  
(日本共産党議員団)
- 齊藤 佐知子 議員  
(公明党)

(抽選による質問順)

### 外国人参政権

**Q** 国民固有の権利である参政権を永住外国人に認めることをどう考えるか。

**A** 永住外国人の参政権については、歴史的背景とともに国内で60万人を超える方々の日常生活や生活権との関連から議論されてきた経過がある。国民主権をいかに考えるかとの根幹にもかかわることから、衆参両院の憲法調査会で調査されており、国会においては法律案が継続審議となっている。

### ゆとり教育

**Q** ゆとり教育で学力の低下が進んでいると言われている

広範な議論の深まりの中から、どのような国民的な合意が形成されていくか動向を注視していきたい。

が、学力はどのように変化したか。今後の対応は。

**A** 各学校がゆとりの中で特色ある教育を展開し、生きる力を培うことを基本的なねらいとして、14年4月から学習指導要領が改訂されてきている。

学力については、小学校の3学年と5学年を対象に国語



### 子供サミット

と算数、中学校の2学年を対象に5科目の共通学力検査を実施しており、14年度と15年度を単純に偏差値平均で比較すると、15年度が上回っている。少人数授業や習熟度別授業などの学力向上支援事業を実施した成果と考えている。今後においても、一人ひとりの個性・能力に合わせた多様な授業方法を進め、分かる授業に努めていきたい。

**Q** 意見表明の場として、子供サミットを教育行政の一環として開催できないか。

**A** 子供の意見表明の場とし

### 土曜広場

て、各学校の学級活動や児童・生徒会活動、さらに公園整備におけるワークショップでの意見くみ上げなど環境づくりに努めてきており、今後子供たちの意見を尊重して施策に反映していきたい。子供サミットは、企画から実施まで子供たちが主体的に進め、保護者や学校、地域が側面的に支援していくことに意義があると考えており、環境づくりに努めていきたい。

**Q** 土曜広場を持続していくために、市の事業として取り組むべきでは。

**A** 土曜広場は学校週5日制に伴う子供たちの週末対応として打ち出されたものであり、昨年度は14小学校で開催され好評を得ている。

事業の推進に当たっては、小学校区単位でPTA・ボランティア・地域住民・学校職員による地区運営委員会が設置され、運営委員が主体となって指導者の配置や講座を開設・運営している。

地域ボランティアの力に支えられ運営されているが、長続きする事業となるように努めていきたい。

### いじめ対策

◎ いじめ問題は正しい認識の下に取り組むことが重要であり、防止、相談、地域との連携体制などを見直す必要があるのでは。

▲ いじめは絶対に許さないとの認識でいじめのない学校づくりを目指しており、教師の共通理解を図るとともに、児童・生徒会活動などで指導を行っている。児童・生徒や保護者、教師を対象に臨床心理士による教育相談や専任指導員による電話相談などを行っており、学校以外のいじめに対しては地域住民や警察などによる協議の場を設けている。

### 特産品の販売

今後、学校だけが問題を抱えるのではなく、家庭をはじめ地域や関係機関との連携機能を高めていくような環境づくりに努めていきたい。

◎ 江別特産品の普及のために、一堂に集めた販売所を整備してどうか。

▲ 特産品については、東京での常設展示や札幌で行われる大通りふるさと市場等の物産フェアにより販路拡大や販売促進を進めるとともに、観光パンフレットやインターネットを利用した江別ブランド事典などで紹介している。市内では庁舎1階ロビーと河川防災ステーションで一堂



に展示しているが、特産品をその場で購入できることは利用者の利便も大きいと考えている。

現在、江別観光協会による河川防災ステーション内での販売が検討されていることから、市としても必要な範囲で支援していきたい。

### 高齢者下宿

◎ 一人暮らしの高齢者が、安心して生活できる高齢者下宿を検討すべきでは。

▲ 国は介護保険制度の抜本的な見直し作業に入っており、要支援や要介護1といった軽度の方の処遇について議論されている。介護予防や在宅推進の観点から、住み慣れた地域で居住、通い、泊まりなどの機能を組み合わせた小規模・多機能型サービスが検討されており、高齢者下宿についても他の機能を付加することにより有効なサービスになると考えている。

国の動向を見据えるとともに、大麻地区がモデル地区として指定を受けている北海道型・高齢者が住みやすいまちづくり構想との関連を踏まえ、課題として研究していきたい。

### 産後ヘルパー

◎ 子育て支援のために、産じょく期のヘルパー派遣事業を実施すべきでは。

▲ 現在、類似のサービスとしては、シルバー人材センターが、産前産後の食事の準備や洗濯、もく浴介助などの家事、育児の援助を実施している。こうした活動を行っている民間団体を支援するとともに、保健センターが実施している新生児訪問指導等の機会を通じて支援していきたいと考えている。

子育ては地域全体で支えあうことが重要であり、産後ヘルパーは、子育て支援の総合的な取り組みの一環として検討していきたい。

### 5歳児健診

◎ 軽度発達障がい児の早期発見・早期療育のため、5歳児健診を実施すべきでは。

▲ 3歳児健診後も継続的に見守りが必要な子供には、発育段階に応じた健診により早期発見・治療に結びつけていくことにしている。14年11月から、新しい問診票、経過観察基準等を作成し、さらに問



診担当の研修をするなど、発育や育児、精神面の発達などの支援を強化した。子ども発達支援センターでは、心理士による発達相談を実施し、軽度発達障がい児の保育指導にも当たっている。今後とも現状の健康診査の内容を充実させ、保健センター、子育て支援センター、子ども発達支援センターや各療育機関、医療機関等と連携し対応していきたい。



### 千歳川の治水対策

治水対策協議会と連携を図りながら、国に対し引き続き要望していきたい。

**Q** 国の河川整備基本方針に對する考え方と今後の対応は。  
**A** 千歳川の治水対策については、長い年月議論されてきた。国は、様々な比較検討を行い、締切水門を設けなくても堤防の強化や遊水地等を設けることで対策は可能であると判断した。この方針に基づき、16年度中に河川整備計画が策定され、17年度から事業に着手する予定となっている。

### 市営住宅の改修

**Q** 高齢者の住みにくさの実態調査を行い、維持修繕計画に反映させ、手すりの設置や段差の解消は、市が行うべきではないか。  
**A** 実態調査については、過去の修繕実績などを分析し、住宅管理人や民生委員と密接な連携を図り要望に添えていくとともに、点検する機会を増やすことなど検討したい。手すりの設置などは、入居者が模様替え申請を行い自己負担で実施しているが、介護

**Q** 敷金の減免や保証人を免除する制度をどのように周知しているのか。  
**A** 市営住宅の入居手続きは、公営住宅法に基づき市条例により行っており、敷金の減免や保証人の免除は個人にかかる問題であることから、本人の申し出により適宜対応している。

### 市営住宅の敷金・保証人

保険制度による補助もあることから、今後とも申し出を受けて対応していきたい。



**Q** 制度の周知については、どのような方法があるかということを含めて今後研究していきたい。

### 建設常任委員会所管事務調査

10月12日に江別市が参画している石狩東部広域水道企業団の拡張事業見直しに伴い、関連施設である同企業団千歳川取水場、同浄水場、夕張シューパロダム及び川端ダムの現地調査を行いました。建設中の夕張シューパロダムは、大夕張ダムの下流に新たにダム本体を造るという日本でも珍しい再開発による多目的ダムです。なお、江別市では25年度から拡張事業による受水を予定しています。



### 議会の動き

【8月】	【9月】	【10月】
2日 議会運営委員会	2日 議会運営委員会	12日 建設常任委員会
3日 総務文教常任委員会	8日 議会運営委員会	15日 議会報編集委員会
10日 建設常任委員会	8日 28日 第3回定例会	18日 22日 決算特別委員会
23日 議会運営委員会	8日 28日 第3回定例会	26日 総務文教常任委員会
24日 環境経済常任委員会	9日 厚生常任委員会	
26日 総務文教常任委員会	10日 環境経済常任委員会	
27日 建設常任委員会	10日 環境経済常任委員会	
27日 厚生常任委員会	13日 建設常任委員会	
31日 駅周辺再開発調査特別委員会	14日 環境経済常任委員会	
	15日 議会運営委員会	
	15・16日 一般質問	
	16日 環境経済常任委員会	
	21日 決算特別委員会	
	22日 環境経済常任委員会	
	24日 建設常任委員会	
	28日 決算特別委員会	

# 決算特別委員会

水道、下水道、病院の平成15年度事業会計決算は、定例会の初日に9名で構成する決算特別委員会に付託され、会期中に審査されました。

定例会最終日には、3会計ともに全員一致で認定されました。

以下、決算特別委員会での質疑と討論の概要をお知らせします。

## 質疑

### 水道事業会計

**問** 料金滞納者に対する給水停止に関する考え方は。

**答** 給水停止には、催告書、納付督促、相談を促す文書等の段階を踏んで処置するものと、分割納付を前提に未払いの場合は停止する旨の誓約に基づく場合とがあり、料金の納付に当たっては日常的な接触を図り、分割納付の取扱いなど相談する中でお願いをしている。未納が常態化し応えていただけない場合は給水停止となるが、重要なライフラインの一つとして認識しながら、対応に努めている。

**問** 年2回の検針業務や認定料金制度についての検討状況は。

**答** 実質的に年2回の検針体制により認定をする結果、最終的な精算においては、還付又は追徴が発生している。検針回数を増やすには、水道サービス公社との契約の中で人的体制を整え、冬期間に検針を行うには、地上メーターに切り替える必要があり、いずれも大きな投資が必要で、水道料金との関連から難しい面もあるが、次期財政計画の中で検討していきたい。



**問** 分譲マンション等の水道料金に係る検針方法を見直すべきではないか。

**答** 建築主に対しては要綱により個別メーター方式をお願いしているが、一部に確約書により親メーター方式としているマンションが市内に18棟ある。水道料金は、逓増方式をとっているため、親メーター方式では割高となるものであるが、今後においてはマンション側と協議しながら、加入金や設備等の問題を含めて検討していきたい。

### 下水道事業会計

**問** 生ゴミを粉碎し下水道に流すデイスポータは、浄化センターの処理能力に影響を及ぼさないか。

**答** 江別市では、いったん貯留槽に貯めて処理し、上水を排水するシステムのデイスポータの設置は可能であるが、単に生ごみを砕いて水と一緒に流してしまうタイプのものは、下水道施設に影響を及ぼすおそれがあることから認められていない。現在のところ、生ごみそのものが浄化センターの処理に影響を及ぼしているケースはない。

### 病院事業会計

**問** ベテラン医師の退職による影響と地域の病診連携について伺う。

**答** 14・15年度の2か年で9名ほど退職しており、影響は



あつたと考えている。標準医師数の確保までは難しく充足率は80%ほどであるが、退職医師分は補充できている。

地域医療について、開業医には一次医療を、市立病院は高度医療機器を利用した質の高い二次医療を担うような機能分担を目指すことから、地域医療連携室を再編成強化し、特に市立病院を退職し開業した診療所等を含めた病診連携を進め、患者紹介率も向上してきている。

**問** 経営健全化計画に基づく取り組みとその成果は。

**答** 健全経営に向けて、職員に対し病院の現状や経営上の数値等を提示し、参画意識を

## 討論

### 水道・下水道事業会計

**認定** 両事業において、財政計画に基づく計画的・効率的な施設整備等が行われ、経営面においても、当年度純利益が計上され、安定的な経営が継続されている。

一方、滞納者に対する給水停止措置は、重要なライフラインとしての実態を考慮し適切に対応すること、水道料金の基本水量は、負担感を軽減する体系への見直しを検討すること、石狩東部広域水道企業団の水道拡張事業は、市の負担を最小限に抑え、必要水量を見極めるよう働きかけるなど指摘し、市民の福祉に貢献する事業運営を要望する。

高めている。また、管理者会議で経営状況等を協議しているが、特に医師の確保について重点的に努力している。経営健全化計画に基づき、費用面では材料費や薬品費の値引率・単価、委託料などの見直しを行い、収益面では、人工透析や精神科のデイケア、病棟の薬剤指導など、一定の成果が現れているが、差額ベッドなどが下がっている部分もあり、今後も努力したい。

**認定** 水道事業では、配水

区域ブロック化事業や配水管整備事業、浄水施設整備事業などの的確に実施され、収益的収入では予算に対し、8千500万円ほどの増収となり、支出でも費用節減により2千400万円ほどの不用額を生じ評価する。下水道事業においても管きよ、ポンプ場及び浄化センターの整備が予定どおり行われ、収益的収入では約2千700万円の増となり、支出でも経費節減に努力が認められる。両事業において、今後とも維持管理体制の充実、経費の節減等に努力され、市民サービスの向上に、一層取り組みを望む。

**病院事業会計**

**認定** 医療制度の改革、ベテラン医師の退職など多様な課題対応を迫られる中、経営健全化担当職員の配置、医療事故防止のための体制強化などに取り組んでいることを評価する。

市民の医療を保障し、公的病院として不採算部門を担う一方、経営基盤の確立と健全経営が求められる中、経費削減に努力しながら、市民への良質な医療サービスの提供に努められている。

**意見書**

次の意見書を国や北海道に提出しました。

郵政事業の民営化に関する意見書

郵政事業は、全国2万4千700のネットワークサービスを通じ郵便・郵貯・簡保を中心にユニバーサルサービスを提供しており、郵便局の存在は重要なものとなっております。

政府は平成19年4月に窓口ネットワーク会社を含めた4事業別に分社化し、29年を期限とした民営化までの移行期間中に郵便貯金・郵便保険会社の政府保有株式を売却するなどの方針を閣議決定しました。

民営化されると採算性が重視され、不採算地域からの撤退など、公平なサービスの提供を受けられなくなるおそれがあることから、利用者である国民の立場に立つて郵政事業の後退が生じないよう検討することを国に要望しました。

地方分権推進のための国庫補助負担金改革案の実現を求める意見書

三位一体改革の全体像を早期に明示するとともに、地方

六団体がまとめた税源移譲や地方交付税の在り方、国による規制等の見直しに関する具体例を含む国庫補助負担金等の改革案と地方公共団体の思いをしんじに受け止め、国と地方六団体との協議機関を設置することや国庫補助負担金改革に伴う税源移譲、交付税措置を一体的に実施することなどの前提条件を十分踏まえて、改革案を早期に実現することを国に要望しました。

北方領土問題の解決促進に関する意見書

北方領土返還要求を国民総意の運動として展開してきましたが、戦後59年を迎えた今、領土問題の解決に向けてこれまで以上の強力な外交交渉により、日本国民の永年の悲願である北方領土返還の実現と日口平和条約の締結による真の日口友好関係を確立することを国に要望しました。



道路整備に関する意見書

自動車交通の占める割合が高い北海道の道路整備はいまだ十分な水準とは言えず、道内の圏域間交流による経済の活性化、救急医療や災害時の代替ルートの確保、また積雪寒冷地に適応した除雪やアイスバーン対策など地域事情に配慮した道路整備の着実な推進が不可欠なことから、所要の事業費の確保とともに地方が道路整備を円滑に実施できるよう、道路整備財源の確保を国に要望しました。

北海道の難病対策に関する意見書

特定疾患治療研究事業として国の45疾患に加え、道は単独で7疾患を指定し、医療費負担の軽減等を図っています。北海道特定疾患対策協議会からはウイルス性肝炎や橋本病などの4疾患について、他事業への移行や廃止等の見直しが必要と報告され、道も財政立て直しプランで見直しを明らかにしています。

4疾患で受給者の90%近くを占めており、難病患者の実態と事業の必要性を踏まえ継続するとともに、関係団体等と十分協議し、検討することを道に要望しました。



**編集後記**

日本列島記録的猛暑の中、北海道も久方ぶりの夏らしい夏でした。さらに駒大苦小牧、ファイターズの活躍が心躍り燃え上がる北海道にしてくれました。

豊かな秋の期待を裏切り、台風18号は市内各所に予想を超えた風害を残しました。今議会で台風関連補正予算が審議されましたが、被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。

時節柄石油の値上がりで気がなります。産油国の政情不安等原因が取りざたされています。国際情勢の安定を願うとともに、当事国民の労苦には比べようもありませんが、暖房に心配のない冬を迎えたいものです。